

4 資料

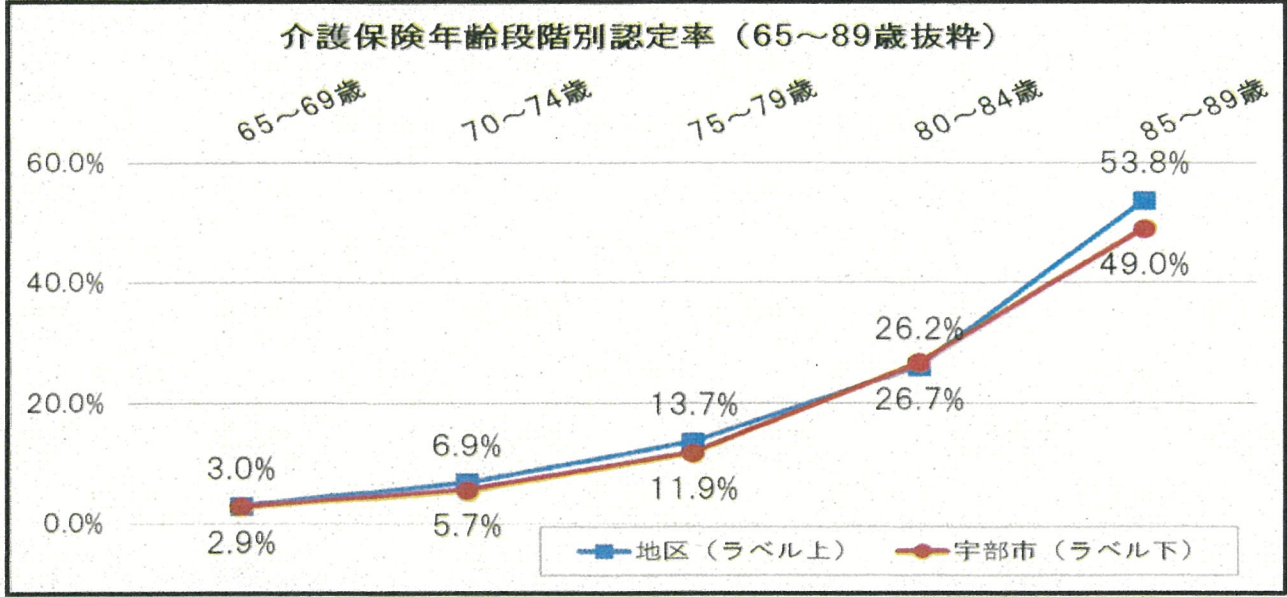
①がん検診・特定健診・後期高齢者健康診査受診率 単位：％

検査項目	H28		実績						評価
	実績	市平均	〈目標値〉	R1 (市平均)	R2	R3	R4	R5	
胃がん	20.3	12.8	〈22.3〉	23 (13)	コロナ禍の影響を受け、令和3年度実績は、乳がんを除き、受診率は下がる結果となった。	18	14.7	13.9	
肺がん	24.7	22.5	〈27.2〉	30 (25)		26.7	25.3	27.9	
大腸がん	24.9	18.3	〈27.4〉	28 (20)		23.2	21.9	23.6	
子宮がん	10.0	10.4	〈13.0〉	15 (13)		13.8	9.2	12.5	
乳がん	10.7	11.7	〈13.9〉	14 (12)		14.7	9.9	14.1	
特定健診	25.1	25.6	〈27.6〉	36.5 (35.7)	32.3	27.6	35.8	-	
後期高齢者健康診査	-	-		39.5 (32.2)	34.3	40.4	34.1	-	

②健康づくりへの取り組み状況 単位：人

活動 \ 年度	目標 (実績)	実績				評価
	R2～R4	R2	R3	R4	R5	
ふれあい運動会	270 (H29:250)	コロナの為中止		220	250	R2年、3年はコロナ禍による中止が続き、R4年度は、参加者は減少したものの、感染対策を講じて無事に開催することが出来た。
ふれあい球技大会	90 (H29:80)			70	中止	
船木宿健康ウォーキング	200 (H29:186)			77	110	
健康民謡教室	470/6回 (H30:470)	300/2回	300/2回	763/8回	-	

③年代別 介護認定率(R2.4.1現在) 出展：地域カルテ(住基・介護認定者集計)より



地域活動に参加して、元気に過ごしましょう

船木地区 第3期健康づくりプラン (令和5年4月～令和9年3月) 令和8年4月1日(期間変更) 令和5年4月1日策定 船木地区コミュニティ推進協議会

△ R5年度がん検診実績値反映及びはつらつポイントテーマの中止 令和6年11月29日「改訂

1 経緯

健康づくりプランの目標は健康寿命「令和元年 宇部市：男性80.73歳 女性83.59歳」の延伸であるが、各地区別の算出が出来ない為、第1期/第2期健康づくりプランの目標は「1. がん検診・特定健診等の受診率向上」「2. 健康づくりの場の提供と参加率の向上」に取り組んできた。

＝その結果＝

1. がん検診・特定健診等の受診率向上

- ～1、令和元年度はがん検診・特定健診ともに目標値、また市平均を上回ることができた。(4資料①参照)
- ～2、令和2、3、4年度は、コロナ蔓延により行動制限等もあり、乳がん検診を除きマイナス10～20%の実績となった。(4資料①参照)
- ～3、第3期は後期高齢者健康診査も管理項目に加える。

2. 健康づくりの場の提供と参加率の向上

- ～1、令和元年度までの参加率は順調に推移した。
- ～2、令和2、3、4は前述のとおりコロナ禍でR2、3年は中止した。R4年度は感染防止対策を講じ開催するも、目標値は達成できなかった。(－22%)
- ～3、第3期では、「はつらつ健幸ポイント事業への登録促進」を管理項目に加える

2 人口減少/高齢化率/介護保険認定率の現状

・22年後の2045年には推計によると人口は現在の1/2以下になり、高齢化率は50%を超えます。(右表参照)

船木の22年後の人口推計

	2015年	2022年(2023.1月末)	2045年
人口(人)	3,820	3,402 (3,353)	1,608
高齢化率(%)	32.1	36.7 (37.0)	51.5

・介護保険認定率は後期高齢(75歳以上)を境に急激に上昇しています。(4資料③参照) 船木地区が市平均を若干上回っているのも、気がかりです。また、高齢化率の上昇に伴い、認知症を発症する人口比率も高くなることが予測されます。(下表参照)

2010.10.1→2015.10.1を基準に算出 (島根県中山間地域研究センター)

・健康であり続けるためには、自らの健康状態に気を配ることや、特定健診・がん検診・後期高齢者健康診査を受診し、早期発見し、対応することが重要です。

・「健康ウォーキング」や「ふれあい運動会・球技大会」「健康民謡教室」を実施していますが、子供から高齢者までだれもが参加しやすい企画を立て、体を動かし、ふれあいの機会を増やす取組を行う必要があります。

船木地区における認知症患者数の3年後(2025年)の推計値

	2022年	→	2025年
人口※	3,402人	→	3,031人
高齢者	1,248人	→	1,162人
高齢化率	36.7%	→	38.4%
認知症患者推計人数 (有病率)***	212人 (17%)	→	220人 (19%)
認知症予備軍推計人数 (有病率)	164人 (13%)	→	151人 (13%)



船木小学校での認知症サポーター養成講座の様子

※年齢層別5年間(2010年～2015年)の変化率を基準に推計した人口
※※「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」
(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学 二宮教授)による速報値

3 具体的な内容

取組方針

- 健康寿命を伸ばすためには
- ①健康状態を確認し、健康づくりの意識づけを図ることが大切です。そのために特定健診やがん検診の受診率向上を啓発します。
 - ②身近な健康づくりや世代間交流をとおして、元気づくりをするために、ウォーキング大会やふれあい運動会、また、「ラジオ体操等」新テーマに取り組みます。

目標1 特定/後期高齢健診・がん検診の受診率向上 単位 %

検査項目		年度					現状	目標値
		R1	R2	R3	R4	R5		
特定健診		36.5	32.3	36.9	35.8	—	コロナ禍の影響を受け、コロナ禍前の受診率を下回っている。第1次目標として、R元年度の実績を目指す(達成後は前年実績以上を目指す)	R6 ~R8
後期高齢者健診		39.5	34.3	40.4	34.1	—		
がん検診	胃	23	/	18	14.7	13.9		
	肺	30		26.7	25.3	27.9		
	大腸	28		23.2	21.9	23.6		
	子宮	15		13.8	9.2	12.5		
	乳	14		14.7	9.9	14.1		

【取組】推進団体:地域支え合い会議

取組内容	行動目標
あったかだよりへの掲載	5版/年間
サロン、福祉交流会、支え合い会議等地域団体への啓発	10団体以上/年
ふれあいセンター内に健康づくりコーナー展示(H29年設置)	10月:乳がん検診啓発

「あったかだより」

船本 あったかだより Vol.28

令和4年5月発行

早期発見・早期治療が肝心です！

特定健康診査	後期高齢者医療の健康診査	がん検診
40歳以上の宇部市国民健康保険加入者	後期高齢者医療保険の加入者	宇部市在住で、会社などで、がん検診を受ける機会のない方
令和4年4月1日(金)	令和4年5月2日(月)	令和4年4月1日(金)
令和4年12月20日(水)	令和5年3月31日(金)	令和4年12月20日(水)
無料	一人 500円	種類別に自己負担あり
受診券と同封の「特定健康診査・がん検診とその他の検診」のご案内を必ずお読みください。		
【リンクの印刷】4月上旬発送 がん検診受診券が同封されています。	【白色の印刷】4月末発送 R4年4月1日以後に75歳になる方は誕生月の翌月末に受診券が発送されます。	【水色の印刷】4月上旬発送

【補給品の配布】がん検診・健康診査・予防接種が受けられます。

実施日: 6月11日(土) 受付9:00~11:45
予約開始日: 5月11日(水) 8:30~
会場: 補給センター
予約先: TEL 31-1777(宇部市保健センター)

「ふれあいセンター健康づくりコーナー」



		H22年	H26年	令和元年	目標(令和8年)
宇部市の健康寿命	男性	78.01歳	79.06歳	80.73歳	81.70歳
	女性	82.92歳	83.71歳	83.59歳	84.05歳

目標2 (1)ふれあい運動会・校区ふれあい球技大会の参加率向上

	現状	目標値
		令和6年度~8年度
ふれあい運動会	令和2,3年中止 令和4年度:220人 令和5年度:250人	前年度実績を上回る
ふれあい球技大会	令和2,3年度中止 令和4年度:70人 令和5年度:中止	

【取組】推進団体:体育振興会

	取組内容
ふれあい運動会	・体育部長への呼びかけ・競技内容見直し
ふれあい球技大会	・内容の充実を図る/新競技の検討

「ふれあい運動会」



(2)船木宿健康ウォーキングを感染予防に配慮して実施し、参加人数を増やす

現状	目標値
	令和6年度~8年度
令和2年~3年中止 令和4年度:77人(船木地区住民限定) 令和5年度:110人	前年度実績を上回る

【取組】推進団体:地区コミュニティ推進協議会

取組内容	行動目標
・散策コースの実施 ・健康チェックの実施 ・地区内外PRの強化	内容の充実

新規テーマの検討

- ・ラジオ体操による健康づくりと、地域のふれあいの機会を増やす・健康づくりを目標に サロンづくりを行う
- ・新規テーマの発掘

「船木宿健康ウォーキング」

